

第32回東海高等学校バスケットボール新人大会

決勝リーグ

試合日	2019年2月10日
会場	このはなアリーナ
コート	Dコート
開始時間	12:50

TEAM A		TEAM B	
浜松開誠館 (静岡)	85	64	名古屋女子大学 (愛知)
25	-	16	
18	-	14	
21	-	12	
21	-	22	
	OT		

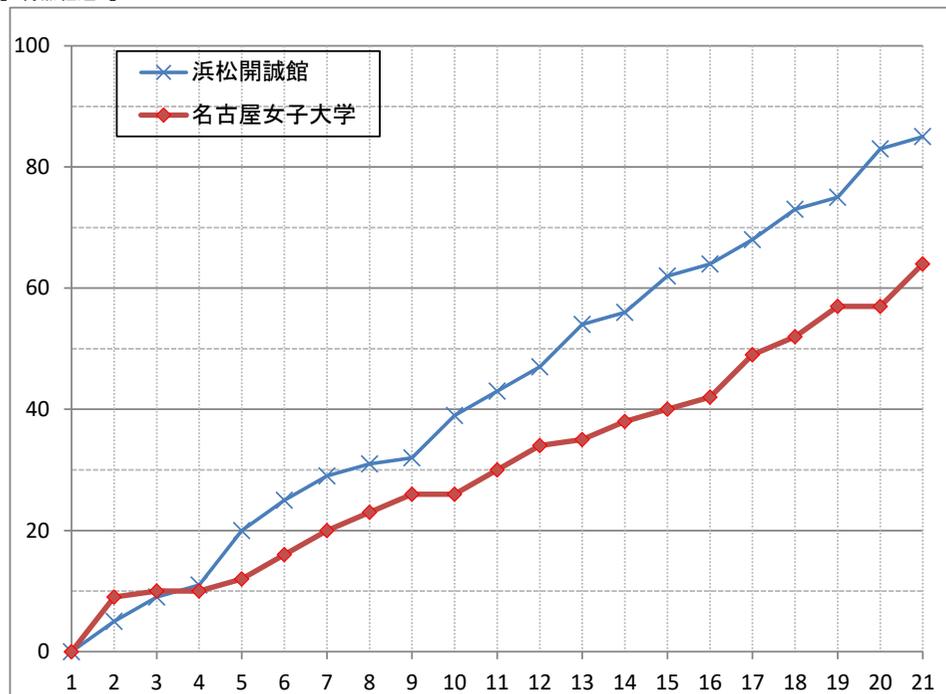
TEAM A 浜松開誠館 (静岡)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	松岡 木乃美	25	1	9	4	1
5	*	大西 莉央	6	0	2	2	1
6		奈須 梓咲	6	0	3	0	1
7	*	黒川 菜津奈	20	4	4	0	3
8	*	塩澤 小夏	2	0	1	0	3
9	*	山本 涼菜	18	0	8	2	2
10		樋口 沙彩	2	0	1	0	1
11	DNP	太田 明伽	0	0	0	0	0
12	DNP	清水 夢佳	0	0	0	0	0
13	DNP	川延 美裕	0	0	0	0	0
14	DNP	高井 なおみ	0	0	0	0	0
15	DNP	大石 沙紀	0	0	0	0	0
16	DNP	柴田 麻子	0	0	0	0	0
17		中田 絵美	4	0	2	0	0
18		マッカラム 杏菜	2	0	1	0	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			85	5	31	8	13

TEAM B 名古屋女子大学 (愛知)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	佐賀 藍葉	25	3	5	6	5
5	*	青山 美瑛	12	0	5	2	1
6		江口 侑花	5	1	1	0	1
7	DNP	金田 なるみ	0	0	0	0	0
8		佐藤 宏美	0	0	0	0	1
9	DNP	日高 優希菜	0	0	0	0	0
10	*	菅原 悠	2	0	1	0	5
11	*	小河路 理子	8	2	0	2	1
12		神原 愛心	3	0	1	1	1
13	*	永田 妃奈野	9	0	4	1	4
14	DNP	神原 優心	0	0	0	0	0
15	DNP	渡部 葉月	0	0	0	0	0
16	DNP	平 琴音	0	0	0	0	0
17	DNP	北田 美礼	0	0	0	0	0
18	DNP	箕輪 万弓	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			64	6	17	12	19

【得点経過】



【戦評】

1PD 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。試合開始から名古屋女子大学④が3Pシュート、ジャンプシュートなどで得点を重ねていく。浜松開誠館はハイポストスクリーンからのカットプレーや⑦の3Pシュート、ドライブでリズムを作っていく。名古屋女子大学はハイビックやハイローを仕掛けるが、浜松開誠館のスイッチディフェンスに対応されて上手く攻撃できない。浜松開誠館は④がスクリーンを使ってインサイドへ飛び込み、連続得点。25-16浜松開誠館リードで1PD終了。

2PD 浜松開誠館は④、⑨のポストプレーで得点するが、名古屋女子大学も④の3Pシュート、ドライブ、⑤のバスケットカウントで点差を縮めていく。31-26で、リードしている浜松開誠館がタイムアウト。その後、浜松開誠館は⑥のカットプレー・速攻で、点差を10点に広げる。ディフェンスでもスクリーンプレーに対応し、相手にタフショットを打たせていく。一方、名古屋女子大学はミスが続くも、相手のイージーミスに乗じて⑬の速攻で得点し、43-30浜松開誠館リードで2PD終了。

3PD 両チーム共点数を奪い合う展開が続く。その中で浜松開誠館は⑦の3Pシュート、④のドライブで流れを掴む。54-35浜松開誠館リードで名古屋女子大学がタイムアウト。その後、名古屋女子大学は⑪の3Pシュートで反撃する。オフェンスも動きを増やしてアラウンドやスクリーンプレーで活路を見つけようとする。しかし点差は縮まらず、64-42浜松開誠館リードで3PD終了。

4PD 名古屋女子大学はオールコートプレスを仕掛けて挽回を図る。④のハイロー、3Pシュートも決まり、点差を縮めていく。しかしここでオフェンスの中心となっていた④がファウルアウト。浜松開誠館は⑦の速攻で点差を離しにかかるが、名古屋女子大学もオールコートプレスから⑪、⑥の3Pシュートで追撃し、諦めない。しかし、浜松開誠館も交代に入った⑪が連続でシュートを決めて反撃を許さない。名古屋女子大学も最後まで⑤、⑫のドライブで戦い続けるも、85-64で浜松開誠館が勝利した。

戦評(文責) 松藤 光生(沼津中央高校) 記入者 松田 岳歩(清水東高校)